



令和3年度

ともに見つめ、  
ともに創る子どもの未来

# 相模原市教育研究会 開催報告

令和3年8月20日（金）に、相模原市教育研究発表会を開催しました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止となりました。今年度も感染拡大の影響から緊急事態宣言が発令されている中、皆様のご協力によりオンラインで実施することができました。4つの分科会には市民の方々、市立小・中学校の教職員、公民館、保育園、幼稚園、子ども園など、約1,200人の参加がありました。

すべての発表が子どもたちの健やかな成長をめざし、積極的に取り組まれた研究・研修の成果や、教育実践の報告で、これからの教育活動の参考になるものでした。

## 第1分科会 キャリア教育の推進・地域連携の取組

【地域の取組】 小学校における英語学習ボランティアの取組 ～月曜日の朝を笑顔でいっばいに～	双葉小学校 英語ボランティア ABCママ	田中 由希子
【学校の取組】 自らの力を表現できる子どもの育成	橋本小学校	川井 要
【教育センター 教育研究員研究】 一人ひとりの社会的・職業的自立に向けた研究	大野小学校 鹿島台小学校 鳥屋中学校 串川中学校	熊川 浩之 畠山 智也 山本 真也 寺園 浩平
【公民館の取組】 令和2年度『クリスマスイルミネーション』 ～地域の学校（富士見小学校4年3組）と公民館の連携事業について～	みんなで文化を 知ろう実行委員長 中央公民館 富士見小学校	佐藤 一郎 木戸 礼子 志村 勝司
【令和2年度独立行政法人教職員支援機構 中央指導者研修 副校長研修】 保護者・地域と連携し児童の安全を守る	藤野南小学校	時岡 良幸

### 参加者の感想

○今後の学校運営や教育課程の中で、生かしていきたい内容でした。キャリア教育を校内だけではなく、地域とも連携しながら、推進していきたいと思います。

○主体的に活動する力を子どものうちに身に付けておくことは、将来社会で立派に活躍していくためにとても大切なことだと思います。そういった力を身に付けさせるためには、子どもたちの自主性に任せるのではなく、子どもたちのやる気を引き出す場作り、適切なタイミングでの言葉かけ、自分の良さを見つめ直すための手立てが必要だと思います。そのことを意識し、常日頃から子どもたちに向き合っていこうと改めて感じさせられました。

【教育センター 教育研究員研究】 CAN-DO リストに基づき共に目指す小中一貫の英語教育	麻溝小学校 星が丘小学校 大野北小学校 上溝中学校 相武台中学校	間瀬 翔太 川寄 真弓 小川 悦子 中沢 暢 稲次 真理子
【令和元年度国立教育政策研究所 長期派遣研修】 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学力向上事業 ～他県他市の全国学力・学習状況調査に係る取組から学ぶ～	鶴の台小学校	藤村 隆之
【令和2年度国立教育政策研究所 長期派遣研修】 「数学における主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善」に向けて ～全国学力・学習状況調査の活用を通じた授業改善の提案～	小山中学校	富田 正志
【令和元年度教職大学院 長期派遣研修】 考えのズレがメタ認知を働かせる ～その様相とそれを支える手立ての考案～	南大野小学校	西山 朋孝

参加者の感想

○外国語、国語、数学・算数のそれぞれの授業実践等を聞くことができ大変参考になりました。振り返りの書き方など視点を与えて、字数制限をすることを繰り返し行なっていくと思いました。

○学力調査から見てきた課題を今後どのように取り組み、改善していくか、どの発表も考えさせられる内容でした。日々の授業実践の中で、課題を焦点化していき、発問の見直しや過程と結論を振り返らせる場面を設けるなど、授業改善に向けて考えなければならないと感じました。本校でも見直しを行い、生かしていきます。



【第1分科会の様子】  
教育研究員の先生方が2年間の研究の成果を発表されました。



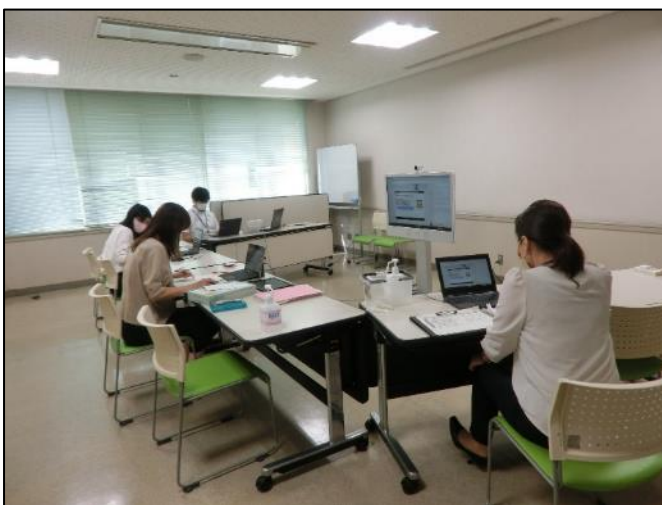
【第2分科会の様子】  
1年間の長期派遣研修で学ばれたことを発表されました。

【令和2年度特別支援教育 大学派遣研修】 通常の学級における個別の指導計画の作成及び活用について	上溝小学校	椎名 香菜子
【校内研究】 実態把握に基づく個に応じた指導・支援の充実 ～多層指導モデルMIMを用いた実践を通して～	九沢小学校	渡邊 春菜
【令和2年度教職大学院 長期派遣研修】 小学生児童における感情コントロールの習得に関する研究 ～怒りの感情コントロールによる問題行動の未然防止～	くぬぎ台小学校	金子 周平
【相模原市幼稚園・認定こども園協会の取組】 インクルーシブ保育につながる保育実践	相模栄光幼稚園 清心幼稚園	永井 嘉明 高橋 喜代美
【令和元年度特別支援教育 大学派遣研修】 学校と外部機関の連携を活かした生徒支援	教育センター	小野 響子

### 参加者の感想

○子ども一人ひとりの実態を十分に把握した上で、ねらいや支援方法を考え実践していくことの重要性を改めて感じることができました。様々なヒントが得られたので、支援の参考にしたいと思います。

○どの発表からも一人で行うのではなく、様々な人達と協力して行っていくことが一番重要なのだと感じました。子どもの性格、特性が様々なように大人である私達も様々な視点もっています。子どもたちのためにも、まずは大人である私達が意見を交わし合い、子どもと向き合っていくことの大切さを感じました。



【第3分科会の様子】  
校内研究での実践とその成果について発表されました。



【発表者の控え室】  
各分科会の発表が見られるようにモニター用意しました。



## 第4分科会 先進性のある教育の実践・学校指導体制の充実

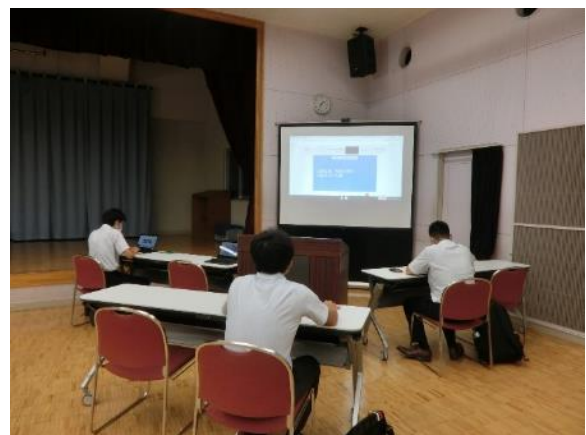
<p>【教育センター 教育研究員研究】</p> <p>プログラミング的思考を育成するためのカリキュラムに関わる研究 ～プログラミング教育における小・中学校系統立てたカリキュラムの開発～</p>	<p>横山小学校 九沢小学校 相原中学校</p>	<p>佐藤 奈津美 木原 智裕 荒木 佑輔</p>
<p>【令和元年度・令和2年度 独立行政法人教職員支援機構 学校の情報化指導者養成研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新時代を生き抜くための資質・能力の育成 ～with/after コロナにおける教育活動～</li> <li>・学校教育の情報化について</li> </ul>	<p>桂北小学校 弥栄中学校</p>	<p>小野寺 明彦 森 良太</p>
<p>【令和元年度教職大学院 長期派遣研修】</p> <p>若手教師が育つための8つの視点 ～ALACTモデルのリフレクションを通して～</p>	<p>大野北中学校</p>	<p>宇佐美 健</p>
<p>【令和元年度独立行政法人教職員支援機構 中央指導者研修いじめの問題に関する指導者養成研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの正確な認知と組織的対応にむけて</li> <li>・いじめの社会問題化と法の制定 ～組織的な取り組みの実践報告～</li> </ul>	<p>弥栄小学校 中央中学校</p>	<p>田上 智範 上里 真弘</p>
<p>【令和2年度教職大学院 長期派遣研修】</p> <p>カリキュラム・マネジメントの考え方に基づいたカリキュラムの作成を実現する校内研修の開発 ～中学校における生徒会活動の改善を通して～</p>	<p>相陽中学校</p>	<p>奥原 佑典</p>

### 参加者の感想

- 「プログラミング教育」や「いじめ」といった様々な教育課題に対して、教員はどのような認識をもたなければならないのか、改めて気付くことができました。また、教育活動全体において、常に先を見通しゴールを意識して指導していくことが重要だと感じました。
- 若手教師の育成では、一方的に育てようとするのではなく、一緒に考え、互いに育つという姿勢が大切だと感じました。また、経験を積んでも謙虚に自分を見つめ直すことが必要だと感じました。



【第4分科会の様子】  
長期派遣研修での学びと実践の成果について発表されました。



【発表者の控え室】  
発表の準備をしながら、モニターを通して発表を視聴されています。